

一般質問



中根 久治 議員

問 民間路線バスの将来構想は

答 現状は廃止となっている

町民の足としての路線バスの復活を願う立場から、3駅プラス3市間の路線バスの構築を問う。

問 民間路線バスの将来構想は。

答 企画部長 都市交通マスタープランの中で再編成など掲げているが、現状は廃止となっている。

問 民間路線バスがない人口4万人規模の自治体は他にあるのか。

答 本町だけである。武豊町は、コミュニティバスを民間に委託している。

問 都市交通マスタープランの「バスネットワークの構築」とは。

答 コミュニティバスの導入、路線バスの再編、企業バスの連携の3つが提示されている。この課題の中で取り組んでいる。えこたんバスの民営化、第三セクターなどの民間



町民の足となっている「えこたんバス」

活力の活用に転換する考えは。答 バスの小型、デマンド化、NPOの参画、地域

タクシー、企業バスなどこれから検討し取り組んでいきたいと考えている。

問 教育勅語の教材利用の留意点は

答 取り上げる必要はないと考える

問 教育勅語は実際に学校で教材として使われることが危惧されるが、道徳教材選択の実態や管理職の内容把握などをふまえて留意点は。

答 教育部長 各担任から管理職に、翌週の時間割や、授業内容が提出される。教材として取り上げる必要はないと考える。問 Jアラートが作動した場合の学校の対応マ

二ユアルや避難訓練の計画はあるのか。答 国などの指針を参考にマニュアルは作成する。訓練は検討。

問 弾道ミサイルの飛来を想定した登下校を含む野外での活動中の対応と留意点は。答 町の防災無線が鳴ると、それに基づいて行動する。屋外にいた場合は、頑丈な建物に入るなど、指導していく。

問 小学校は部活動がなくても教員は多忙なのか。多忙をもちます複合的要因と対策は。答 在校時間が月80時間を超えた割合が35・5%であり、多忙と考える。各種会議や研修、報告が多いことが要因。取り組めるところから考えたい。

理解を広めたい」と前向きであった。認知症の人がいかに自分らしく生きることができる社会やまちづくりに取り組むかを問う。問 認知症ケアの取り組みは。答 健康福祉部長 地域包括支援センターに認知症支援員を配置。本年度は認知症初期集中支援チームの発足に向けて、岡崎医師会や町内医療機関などと調整する。

一般質問



丸山 千代子 議員

問 学校にエアコン設置を

答 今後の課題にしたい



エアコン設置の第3児童クラブ（幸田小学校）

地球温暖化の影響で気温が上昇している。夏場における小中学校の教室は30度以上になり、汗をかきながら授業に集中できず劣悪な学習環境である。平成26年の文科省調査で空調設置状況は、全国平均32・8%、愛知県12・9%と低い。エアコンの設置をすすめるべきである。

問 県下の設置状況は。答 教育部長 小中学校で完備は名古屋・みよし市、来年度に刈谷市、安城・知立・碧南・豊田市は特別支援学級のみ設置。岡崎・西尾・蒲郡市は設置予定がない。問 文科省が示す学習環境基準と補助事業。答 室温が10度以上30度以下。空調設備の補助率は7分の2。

問 北部中学校増築校舎はエアコン完備か。答 6教室すべてで計画。普通教室の設置費は。答 1教室当たり250万円程度。問 町の小中学校151教室全部の試算は約4億円。空調設備格差が生じる学校にエアコンの設置を。答 校内格差となるが、今後の課題にしたい。

問 認知症にやさしいまちづくりを

答 社会参加できる地域づくり

認知症は、2025年には65歳以上人口の約2割になるといわれ、国民的課題である。若年性認知症を発症した方が「認知症になったら終わりではなく支援者の力も借り認知症とともに生きる

問 認知症の人にやさしいまちづくりの取り組み。答 高齢者の方が生きがいを持って社会参加できるための地域づくりを推進していきたい。問 認知症の人の生きがい。答 認知症の人にやさしいまちづくりの取り組み。答 高齢者の方が生きがいを持って社会参加できるための地域づくりを推進していきたい。

その他の質問 ● 総合事業の充実を